



町の新動脈が開通。産業道路として喜びのテープカット

広報

あいかわ

'88/12 No.367号

昭和63年12月1日 秋田県合川町

編集 総務課 ☎0186 (78) 2100

合川西部農道が完成

喜びのテープカット

合川西部地区農免農道が完成し、十月三十日、竣工式典が行われました。同農道は、秋田営林局の森林軌道跡を整備したもので、バイパスを思わせる快適な道路に生まれ変わりました。

合川西部地区農免農道は県営事業として行われ、一期地

木戸石〜羽根山〜三里

区の三里・羽根山間に昭和五十六年度着工。昭和六十一年に竣工して、区間利用されてきました。二期地区の羽根山・木戸石

間には昭和五十七年度着工。完成が待たれていました。全線の総延長は七千六百メートル。車道幅員が五・五メートルの全線アスファルト舗装で、町の基幹道路として活用されています。

道路ぞいの約三百メートルの水田、畑地では自動車や機械の活用がたいへん便利になりました。羽根山沢など、山林資源の活用に及ぼす経済効果も大きいものと見込まれています。

三十日の竣工式典には、工事関係者と沿線の町民が参加して、三里と羽根山の祝賀ゲートでテープカット。車両バ

ードでテープカット。車両バ

リードで、走り初めを行いました。

阿仁川筋農免農道

木戸石・川井間も開通

県営の農免農道整備事業では、引き続き当町木戸石と森吉町鶴田を結ぶ「阿仁川筋農免農道」の工事が行われています。同路線は松ヶ丘団地の中央と通って、大野台農用地開発を促進させるものと期待されています。木戸石・川井間が区間利用されており、急ピッチで工事が進められています。

売り込めー町の味覚

今年も生協まつりに

生活クラブ生協（連合事業部―東京都・組合員十四万人）の「生き活（い）きまつり」が十月三十日、各地で行われ、当町からは東京都町田市会場に参加しました。

同まつりへの当町からの出店は三回目。消費者との交流の中から、特産品の売り込みをめざして、農家、農協、営林署職員らが参加しました。

新鮮さを売り込む野菜、くだものや、手造りの味を売り込む漬物、きりたんぼ、木工品など、運び込んだ大量の品々が売り切れになる盛況ぶりに、参加者は大忙し。菓箱作り。比内鶏とのふれ合いコーナー、マトビなどの催し物企画も好評でした。

参加者は「ねだんの付け方が勉強になった」「食品の安全



と自然に対して、とても関心が高かった」など、交流の積み重ねの中で、販路の確立への期待が広がっていました。

若人の力で拓く

町おこし

カメラスケッチ 産業文化祭



▲にぎわった特産品直売コーナー。比内鳥バックの直送などが好評



▲あきたこまち・あわもち・有機農業など農産品では、展示物を見ながら、真剣な話し合い



▲県立博物館の移動展示では、よろいかぶとの体験もー

十一月五、六日、第十三回町産業文化祭が開かれました。今年のテーマは「若人の力で拓くー町おこし」今年には稲作が深刻な冷害の中で、畑作は比較的順調。文化活動の熱心な展示や、特産品づくりへの意欲的な取り組みが目立っていました。にぎわった産業文化祭の様子をカメラで紹介しま



▲第2回全日本スイートコーン選手権。おいしさを味わいながら、豪華な賞品に挑戦



▲小・中・高生に、一般の合唱サークルの人たちも参加して、感動的なふるさと讃歌

◀始めて設けられたお茶席で、あわただしい日程の中のひとときのやすらぎ。



大自然の魅力あふれる一大公園として整備が進む

あじさい園オーナー

一口五千元で
大構想をみんなで

町では活性化の一環として、関の沢森林公園の手前に二畝のあじさい公園を造成しています。

新年度はこの地に、日本あじさい二十五種類一千本と、

楓三十種類三十本を植栽する予定です。新年度町予算では、道路舗装、水道、電気、駐車場、トイレ、看板などを計画。植栽木は人々の心をこめた、一口五千元のオーナーを募集します。あなたもこの大構想のオーナーになってください。

関の沢公園 (仮称)

新名称とあじさい園オーナーを募集します

募集人員は百三十人で、町内外を問いません。締切りは昭和六十四年二月末日です。

新名称

一大公園に

ふさわしく

関の沢森林公園は、休憩施設(茶室を含む)で、芝生広場、遊歩道などが、第二次林業構造改善事業で設置されました。

さらに、その手前にあじさい公園ができます。これらを総称するには関の沢公園の名では、スケールが小さすぎるとの意見が多く、町では新年度からバイパス工事や農道工事の完成へむかって、この地方の一大名所とするために、それにふさわしい公園名を募集することになりました。締切りは、二月末日。入選者には記念品を差しあげますので、多くの方の応募を期待しています。

あじさい園のオーナー申し込み、名称の応募は、役場農林課(☎七八二二一一五)にお寄せください。

町の若者ビデオ『夏編』が完成

教材や宣伝に利用ください

町内の青年たちが製作を進めている、町の記録ビデオの『夏編』が完成しました。このビデオは自然や風物の中に、この町に生きる人々の姿を紹介しようというもので、美しい町のようすが三十分にとめられています。農作業や工業団地など、生き生きと働く人々の姿や、町民体育祭、朝野球、祭りなども紹介。公民館や学校に備え付けるほか、他町村向けの宣伝ビデオとしても活用されます。

ビデオのイメージソングも好評

完成した『夏編』は「県外の友だちにぜひ見せたい」「発

ビデオ『夏編』は、映像とともに美しい音楽が喜ばれています。作詞・作曲は加藤寿さん(鎌沢)と妹の相原ひとみさん(北海道住)。ビデオ製作への協力の中で「マイラストリゾート」「モーニングキッス」などのイメージソングが生まれました。音楽家として活動しているひとみさん自身が歌う挿入歌は、親しみやすく新しい感覚が好感を呼んでいます。



手作りのビデオが美しい映像で第一部完成。

町のビデオの貸出申し込みや、これからの製作についての照会・協力などは町商工観光課(☎七八二二一一五)にお寄せください。イメージソングのカセットは頒布(五百円)しています。

海外研修生

タイから14人が来町

稲作に深い関心

十月二十六日、タイ国から研修生十四人が来町されました。町では、昨年から財団法人海外技術者研修協会の研修生と交流。マレーシア、インドネシア、中南米四カ国の研修生に続いて四回目の交流が行われました。

一行は役場訪問に続いて、大野台工業団地（東洋精箔株）

と農家（川井・佐藤冬造さん）で研修。大野台ハイランドハウスで、町内青年との交流で行いました。



ゲームで抱き合って楽しい交流

秋の叙勲

杉瀧武一郎氏に勲五等双光旭日章

十一月三日、秋の叙勲者が発表され、杉瀧武一郎氏（増沢・七五歳）に勲五等双光旭日章が贈られました。杉瀧氏は昭和二十三年に下大野村農協理事になられ



てから引き続き農協事業挺身され、昭和四十二年から合川町農協組合長。現在、秋田県共済農協連専務などの要職にあられます。また昭和十七年下大野村議会議員になられ、昭和二十六年から町村合併の昭和三十年までは下大野村議会議長、合併後、昭和四十二年まで合川町議会議長として、ご尽力されており、地方自治の発展と農業振興に果たされた功績で栄誉を受けられました。

先端技術を学ぶ研修が多い

皆さんも、同じ「お米の国」とあって農業に深い関心。交流では、「転作」「米価」などの会話が聞かれています。

翌二十七日は、合川高校を訪問。各教室を巡って授業風景を視察し、高校生と意見交換しました。両国のくらしぶりの紹介や、将来の夢を語り合うなど活発に会話。今後の交流を約束し合う場面も見られました。

誘致企業一二社 相ついで操業

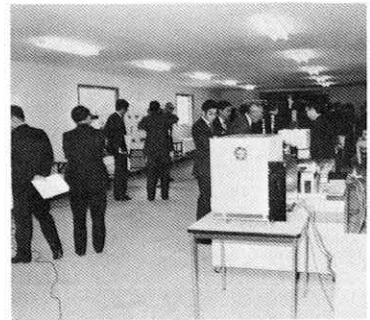
合川精密・秋田妙徳

町の工業団地に、誘致企業が相次いで操業しました。

合川精密有限会社（佐藤吉次郎代表社員）は十月十五日、松石殿工業団地に工場が竣工。二十四人がシチズン時計の文字盤の製造にあっています。

大野台工業団地と隣接する横呑沢工業団地には、株式会社秋田妙徳（伊勢養治代表取締役）の工場が十月三十一日に竣工。技術開発センターとして開発部門を主体に、製造販売の一環体系をめざしています。

新工場のモデル機械を公開



二社は、ともに今後の拡張、増員を計画。町商工観光課では、大野台工業団地への就労希望者などの相談にあっています。

町行造林三十年史

編集委員を委嘱

町の財産造成をめざす「町行造林事業」は明春で三十周年になります。

同事業は低利子の制度資金を活用して、部落共有林に町で植樹。山々を緑に育て、未来への資産の蓄積が進んでいます。

三十周年史は、これまでの事業を記録しようというもので、十一月一日、十人の刊行編さん委員を畠山町長が委嘱

二十一世紀の農林業に指針

広域シンポジウム

十一月九日、上小阿仁村で鷹巣阿仁広域シンポジウムが開かれました。今回のテーマは「地域基幹産業の振興を求めて」二十一世紀の農村の姿を求めて、講演と話し合いが行われました。

講師の安達生恒氏（社会農学研修所長）は「住む人が学習して、主体性のある地域づくりを行うことが大切」と講演。六氏が、農林業や村づくりなどについて提言し合いました。

シンポジウムのビデオが、役場総務課にありますので、ご活用ください。

佐藤鉄郎さんに金色有功章

日本赤十字社から佐藤鉄郎（川井・三九歳）に献血功労による金色有功章が贈られました。佐藤さんは五十回の献血を行っており、社会奉仕の心が賞讃されています。

消防体制が充実

ポンプ車六台に

秋の訓練で初披露

町消防団第四分団(三木田)に消防ポンプ積載車が配備され、町内のポンプ車両は広域



消防を含めて六台になりました。秋の火災予防運動初日の十一月六日、道城部落で大規模な消防訓練が行われました。大火を想定して、次々とかけ付ける消防団員に、一般の人たちも真剣な表情。消火栓からの放水など、総ぐるみの消火活動が行われました。

四小児童が

健脚を競う

第一回学童マラソン

十一月十二日、第一回学童マラソン大会が開かれました。町陸上競技協会(関喜作会長)の呼びかけで、町内四小学校の四年生以上、約百人が参加。あいにくの悪天候に

熱闘満身の 力をこめて

第五回町民綱引き大会

十一月十八・十九日、町民体育館で開かれました。男子十五チーム、女子八チームが参加。チームも増え、地域や職場をあげての応援合戦。優勝は男女とも川井チームで、連続ア

健康づくりで 家族は笑顔に

町の健康シンポジウム

十一月十九日、第五回合川町農村の健康を考えるシンポジウムが開かれました。

シンポジウムでは町家庭料理コンクールの入賞者八人を表彰。手軽にできる工夫され

もめげず、町民体育館・駅前(二・五キロを力走し、大きな声援が贈られていました。優勝者は次の方々です。

- 男子四年 成田佑吾(西)
- 五年 佐藤一人(東)
- 六年 平川裕一(東)
- 女子四年 平川ゆきえ(東)
- 五年 福田芳子(南)
- 六年 吉田庸子(東)

た献立が、参加者を楽しませていました。

佐藤長四郎さん(川井・八九歳) 松岡優子さん(羽根山・会社員) 桜田真由美さん(東根田・西小五年)、松橋厚生さん(摩当・町体育指導員)の四人が意見発表。健康づくりを通じて、家族の明るいふれ合いが生まれている

ことや、地域のまとまりにつながっている例などが発表されました。

助言者からは「健康な体力作りは、子どもの未来の可能性を広げる」「健康はかけがえない財産——ぜひ誰もが考えてほしい」とアドバイス。一人ひとりが、健康づくりへの努力を誓い合いました。

ベック優勝の記録をのばしました。

鎌沢部落に

東北農政局長賞

十一月十日、仙台市で開かれた「豊かな村づくり推進懇談会」で鎌沢部落(八十五戸)に東北農政局長賞が贈られました。この懇談会は、集落・自治組織を通じて生産活動や生活改善活動を推進しようとして開かれているものです。

な取り組みや集落排水事業の導入などの活動が賞讃されたものです。

土濃塚イマさんに

文部大臣表彰

十一月二十一日、土濃塚イマさん(芹沢・七六歳)に文部大臣表彰が贈られました。県地域婦人団体連絡協議会長などの要職にあられ、社会教育への献身的な活動が讃えられたものです。

町長日記から

今年のことぶき大学交流会は南、西、北、東の順序に盛会裡(り)に終った。特に西地区は、いつも参会者が少なかったが、今年は羽立の公民館に集った人々が他地区同様に多かった。

まさにことぶきパワーであり、いろいろの意見を聴いてコミュニケーションを深くし、それによって同世

代の生き方を勉強し、会食して親交することは意義深い。こどもの教育、特に保育園から小学校低学年までは、手作りでいろいろな体験学習することが大切だから、最高の先生は高年輩の人である。まだまだ、引っ込んではいられない。

移動町民室が、毎晩のように開催されている。十一月末までには、町内の半分を越す集落で、対話することになる。

(義)

首都圏の町出身者の集い

阿仁川会 総会 親睦会

ご参加ください

「阿仁川会」は主都圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に住んでいる町出身者の親睦の会です。年一回、会員が集まり近況を語り合い、励まし合いの輪が年々、広まっています。

家族の方々など、町出身の皆様には阿仁川会を紹介くださって、集いへの参加を呼びかけてくださいますよう、お願いします。

新年に開かれる会には町長、町議会議長らが、町の物産などを持って参加する予定です。初めてのの方々をふくめて、多くの参加を期待します。

▽とき 1月8日(日)午後4時〜7時

▽ところ サンプラザ十三階(東京都中野区中野四―1―1 JR中野駅北口下車) ☎〇三―三八―1―1(五一)

▽会費 男六千円 女五千円

▽申し込み締切り 12月25日(日)まで

学育英共済事業団交付金〇三―八三六―1―1九1― または 役場商工観光課 ☎〇一八六―七八―1―1五まで。

公営住宅の

入居者募集

町では、今年、新たに建設された公営住宅下杉団地などの入居者を次のとおり募集します。

▽下杉字狐森・下杉団地 戸数 五戸 家賃 三万三千円

▽川井字鳥屋沢・田ノ沢団地 戸数 一戸 家賃 七千円

入居資格など詳しくは役場建設課(☎七八―1―1二五)におたずねの上、所定用紙で申し込みください。

確認ください

地籍調査の地図など

町で行った地籍調査事業でまとめた地図・簿冊について

次のとおり閲覧を受け付けます。調査結果を確かめ、わからないことや、まちがいがあつたらおたずねください。

閲覧地域 鎌沢字石淵、務沢、

上務沢、長助沢、根小屋沢、

林岱、谷地向、古屋布、前田、新屋布、地藏岱、家の南、家の下、上野、児墓、大泥、閲覧期間 11月24日〜12月16日

場所 12月5日 鎌沢生活改善センター(午前9時30分から午後4時) 6日 三木田

公民館(午後1時30分〜午後4時) 7日 杉山田集会所

設(午前9時30分〜午後4時) この三日間のほかは、役場会議室で(職員勤務時間内)

母子家庭・

障害児童に

扶養手当

児童扶養手当 対象 父親のいない家庭、父親が身体障害や長期病気療養中の家庭など。

受給者 母または養育者 対象除外 老齢福祉年金以外の公的な年金(国民年金・恩給・厚生年金など)を受けることができる人。

特別児童扶養手当 対象 二十歳未満で身体または精神に中度以上の障害のある児童

受給者 父・母・または養育者 対象除外 障害を事由に年金を支給されている児童。施設

等の入所児童

○児童扶養手当・特別扶養手当については役場福祉課(☎七八―1―1三)におたずねください。

アセアン研修

研修国 タイ、シンガポール 日程 昭和64年2月15日〜22日 経費 十九万九千円(予定) 主催 秋田県国際交流研究会(秋田市山王四―1―二 ☎〇一八八―六〇―二四六九) 申し込み締切り 12月15日

ご相談ください

無料人権相談

十二月四日から人権週間が始まります。他人からの迷惑や苦情・困り事などは、ありませんか。次のとおり無料相談を行います。秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。

▽とき 12月7日午前10時〜後3時

▽ところ 老人いこいの家寿荘

なお人権擁護委員(土濃塚イマさん・藤嶋正夫さん・工

藤正二さん・菊地弘勝さん)と秋田地方事務局(☎〇一八六―四二―六五一五)では、電話相談など、いつでも相談に応じています。

明年度新入園児を募集します

定員 合川東保育園(130名) 合川西保育園(60名) 合川南保育園(45名) 合川北保育園(60名) 申込先 各保育園または役場福祉課(☎七八―1―1三)に所定用紙で。資格 昭和五十八年四月二日以降に生まれた児童で、家庭で保育ができない人。

農業情報を

テレホンサービスで ☎六二―〇〇二九

鷹巣農業改良普及所の無料電話です。

11月30日〜12月8日 今年年の稲作の反省 9日〜

18日 制度資金の活用 19日〜27日 家計簿のあるくらし方 28日〜4日 年末年始のくらし方

私にとって、外国という見たこともない地を初めて踏み込むことになったのが今回であり「古い歴史を持つ中国で国際認識を高めるとともに日中友好を」という大きな研修のねらいに胸を膨らませ参加しました。

私達一行、百四十一人は、中国民航のチャーター機で九月一日に秋田空港を離陸し、三時間余りで中国の大都市（人口千二百万人）上海に着きました。

上海では、想像以上にアベックや色とりどりの服装が目に入りました。上海サーカス、歴史を物語る玉仏寺、博

物館等を見学し、翌日には第一コースは蘭州、第二コースは大連、第三コースは蘇州へと出発。参加した合川の八人全員は第一コースの蘭州、敦煌へと足を運びました。

深まる交流

—あすの秋田を創る

中国研修に参加して—

町教育委員会主任 藤岡 栄

蘭州では、幼稚園、小・中学校で子供たちの施設での生活状態を見学。教師・生徒の学習意欲などに、情熱と気迫を感じ圧倒される思いでした。

私の主な目的地、敦煌はさすがに歴史が古い文化都市で、鳴沙山・莫高窟があります。鳴沙山は、砂丘に囲まれ、三カ月の形をした泉「月牙泉」がありました。砂の山「鳴

沙山」に夕日が沈む光景は言葉で表現できない思いでした。莫高窟では岩山に掘られた四百九十数カ所の穴に、約千年の歳月をかけて壁画が描かれ、それぞれに仏像が安置され、信仰の程がうかがわれました。

北京・人民大会堂で、盛大な歓迎パーティー等が催されましたが、どこでも温かく迎えて説明していただき、交流も深めて下さった中国の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、農家訪問では、生活レベルが年々向上しているのがわかるような気がしました。

町の信仰文化財を一冊に

写真集を刊行

一冊千円で頒布中です

町の宗教・信仰についての文化財写真集「合川の信仰」が刊行されました。この写真集は、合川町教育委員会と合川町文化財保護協会（会長 御所野長三郎さん）が編集を進めていたものです。

写真集には仏像、石碑などを町内全域にわたって調査して集録。百八十枚の写真に、碑名、建立年月日などが掲載されています。

写真集の前文では、町の信仰についてわかりやすく文章で紹介。信仰の起源や変遷が、人々の暮らしを映して解説されています。

「身近にあった石碑のいわれ

小中学校へ図書費

故米倉前議長

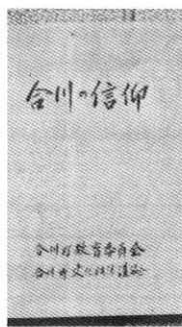
ご遺族から寄贈

米倉芳孝氏（上杉）から町内四小学校・中学校に、五十万円のご寄付がありました。

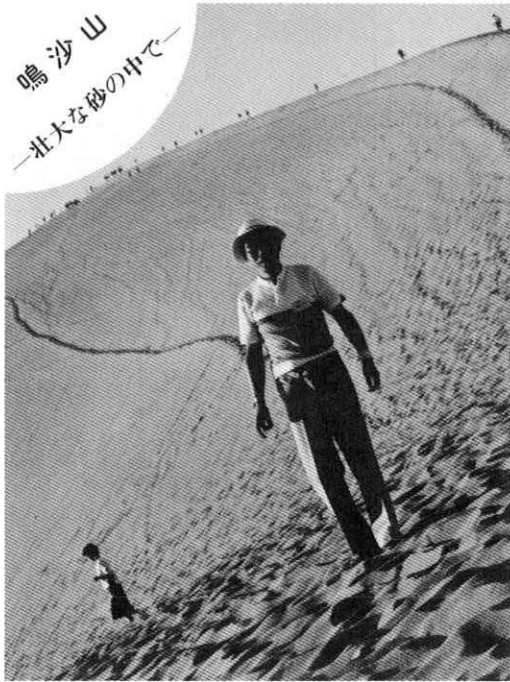
がわかった「子どもたちといっしょに読みたい貴重な資料」と、数年がかりの労作に文化財保護協会には、感謝の感想が寄せられています。

町では昭和四十一年に町史・郷土のあゆみを刊行。今回の写真集は、後世に残る貴重な資料となりそうです。

「合川の信仰」は町公民館（七八―二一四）で頒布（一冊千円・送料一冊二百四十円）しています。



亡父（米倉甚逸前町議会議長）のご遺志により、学校教育に役立ててほしいと申し出られたもので畠山町長・斉藤町議会議長を通じて、各学校に寄贈。各校では学校図書室の充実に活用することになっています。



12月こよみ

DECEMBER

| | | | |
|----|---|----|------------------------------|
| 1 | 木 | 友引 | 年末の交通安全運動 10日まで |
| 2 | 金 | 先負 | |
| 3 | 土 | 仏滅 | |
| 4 | 日 | 大安 | わかくさ交流会 (PM 1時30分～改善センター) |
| 5 | 月 | 赤口 | 部落代表者研修 町冷害対策会議 |
| 6 | 火 | 先勝 | |
| 7 | 水 | 友引 | |
| 8 | 木 | 先負 | 議会運営協議会 |
| 9 | 金 | 大安 | |
| 10 | 土 | 赤口 | |
| 11 | 日 | 先勝 | 鷹阿広域綱引大会 |
| 12 | 月 | 友引 | |
| 13 | 火 | 先負 | 福田移動町民室 |
| 14 | 水 | 仏滅 | |
| 15 | 木 | 大安 | |
| 16 | 金 | 赤口 | |
| 17 | 土 | 先勝 | |
| 18 | 日 | 友引 | |
| 19 | 月 | 先負 | |
| 20 | 火 | 仏滅 | |
| 21 | 水 | 大安 | |
| 22 | 木 | 赤口 | |
| 23 | 金 | 先勝 | |
| 24 | 土 | 友引 | |
| 25 | 日 | 先負 | |
| 26 | 月 | 仏滅 | |
| 27 | 火 | 大安 | |
| 28 | 水 | 赤口 | 公官庁仕事納め |
| 29 | 木 | 先勝 | |
| 30 | 金 | 友引 | |
| 31 | 土 | 先負 | |

国民年金

現況届は忘れずに

社会保険庁では、年1回「年金受給権者現況届」を年金受給者に送付し、受給権があるかどうかの確認を行っています。現況届は、誕生月の初めに受給権者あて送付しますので、役場(戸籍窓口)で証明を受け、その月の末日までに社会保険庁に返送してください。

提出を忘れると、年金の支払いが一時差し止めになりますので、お忘れなく。

この届は年金が裁定されて1年をすぎている人は必要ありません。

税 60万円以上に贈与税

個人から、1年間に60万円を超える財産をもらったときは、もらった方に贈与税がかかります。贈与税の



慶弔だより

(10月届)

〔お誕生おめでとございます〕

木村 涉 李 岱 勝 彦 二男
北林 愛 駅 前 智 二女
佐藤 沙知 川 井 恒 一 長女
藤島 瑞穂 木戸石 満 二女
伊藤 大晃 木戸石 伊代一 長男
成田 千明 李 岱 明 長女
金田 和樹 西根田 孝 志 二男
小原 光博 駅 前 博 長男
高橋 朋子 八幡岱 俊 幸 二女

〔謹んでおくやみ申し上げます〕

成田 一郎 李 岱 本 人
正田 イマ 上 杉 長 一 妻
斉藤千代治 新田目 本 人
金田 金七 西根田 本 人
和田 由蔵 上 杉 本 人

わたしたちの町

人 口

男…………… 4,386人
女…………… 4,814人
計…………… 9,200人
転 入…………… 26人
転 出…………… 19人
世帯数…………… 2,306世帯
(10月末日住民登録人口調べ)

申告は、もらった年の翌年の2月1日から3月15日までです。

会社などの法人からもらった場合は、贈与税はかかりませんが、一時所得として所得税の対象になります。

贈与税には一定の要件を満たすと次のような控除があります。

▶配偶者控除

結婚20年以上の夫妻間で、居住用不動産の贈与があったとき。(基礎控除60万円のほか最高1,000万円まで)

▶住宅取得資金の贈与の特例

父母や祖父母から住宅取得資金の贈与を受けたとき。(300万円まで)

おしうり

だまされないで悪質商法

悪質商法の被害に合わないようには、迷ったり、「おかしいな」と感じた時は、すぐに役場相談窓口(商工観光課 ☎78-2115)または警察相談窓口(☎0188-23-0110)、秋田県生活センター(☎0188-35-0999)に相談ください。

松岡 芳蔵 羽根山 本 人
柴田 ミネ 梅 栄 与 一 母
田中ウメノ 駅 前 俊 作 母

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しにかえて〕

正田 長一 上 杉 (故妻 イマ)
杉 淵 耕蔵 東根田 (故父耕次郎)
桜田 昌志 木戸石 (故父 昌一)
加藤 ミネ 鎌 沢 (故夫与一郎)
柴田 与一 梅 栄 (故母 ミネ)
清水 健助 駅 前 (故妻 朋子)
田中 俊作 駅 前 (故母ウメノ)

〔一般寄付〕

N T T 鷹巣電報電話局
岩沢呉服店 岩沢陸蔵(李岱)

〔広報郵送料として〕

佐藤ツマ 埼玉県川口市芝3-8-10